



# L-FABPテスト POC 急性腎障害発症予測の迅速キット

15分

保険点数  
210点  
判断料  
34点

本品は、既に承認を取得した「レナプロ®L-FABPテスト」の臨床試験から算出された参考基準範囲では陰性を呈するよう設計されており、ベッドサイドで簡便に尿中L-FABPの測定が行えるところに特徴があります。尿検体添加後15分時点のテストラインの色調をスコア化することにより急性腎障害の迅速診断や重症度の予測が可能です。

## 敗血症性AKIの早期診断、予後予測に

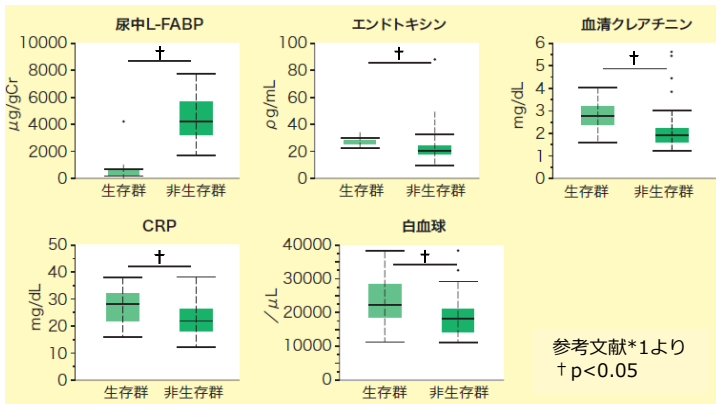
### 使用想定例①\*1 敗血症ショックを起こしたAKI成人患者のICU入室時点の各種パラメータと予後の関係

対象: 敗血症ショックを起こした成人AKI患者 145名 生存群: 77名 非生存群: 68名

実施施設: 医療法人財団 明理会 新松戸中央総合病院

敗血症と腎機能の双方に関係の強い5項目を抽出  
生存群と非生存群に分けて比較

→ 尿中L-FABPのみが死亡予測因子



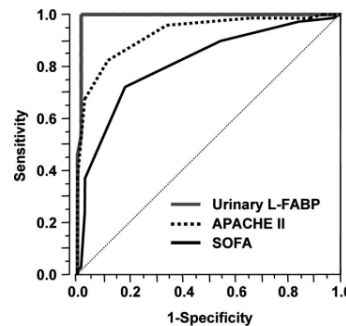
ROC解析

→ 尿中L-FABPが3項目のうち最も死亡予測能が高い

尿中L-FABP : 0.993 (0.956-0.999)

APACHE II : 0.927 (0.873-0.959)

SOFA : 0.813 (0.733-0.872)



• APACHE II: Acute Physiology and chronic Health Evaluation II

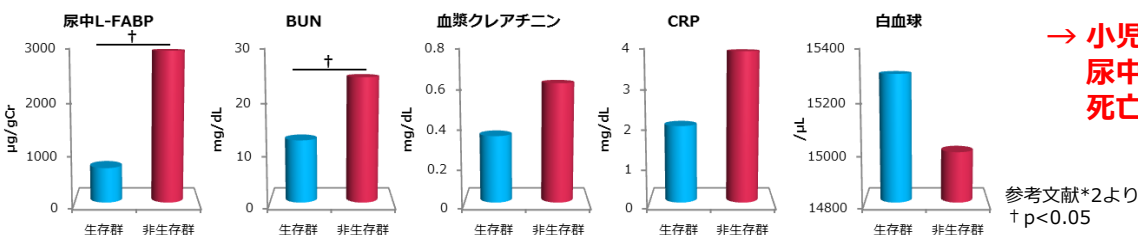
• SOFA: Sepsis-related Organ Failure Assessment

参考文献\*1より

### 使用想定例②\*2 小児敗血症患者のICU入室後の各種パラメータと予後の関係

対象: 6-59ヶ月齢の小児敗血症患者 105名 生存群:83名 非生存群:22名

実施施設: 感染症専門機関・国際研究機関: バングラデシュ国際下痢性疾患研究センター ダッカ病院



→ 小児敗血症患者においても、尿中L-FABPは重症度診断、死亡予測に有用

本論文でL-FABPテスト POCが紹介されています

血清クレアチニン測定結果では、正確なAKI診断が困難な場合があります。\*1,3,4

### 敗血症におけるL-FABP測定の意義

敗血症は新たな治療法やプロセスの見直し等により予後は改善する傾向がありますが(Crit Care Med 2010;38:367-74)、未だ死亡率は25~35%と高い状態です(Lancet Repair Med 2014;2:380-86)。世界の推定敗血症患者数は数千万人とも言われ、近年では高所得国では高齢者の、発展途上国では小児の死亡例が多い傾向がみられます(Lancet 2015; 385:117-71)。

L-FABPは腎臓の近位尿細管に特異的に発現する分子量約14kDaの低分子可溶性蛋白で、従来の糸球体や尿細管の組織障害により尿中に排泄される腎機能マーカーとは異なり、L-FABPは組織障害が進行する前の尿細管の虚血(血流不全)や、尿細管への酸化ストレスにより尿中に排泄されます。そのため、尿細管機能障害を伴う腎疾患の早期検出に有用であると考えられています。また、腎障害の程度に応じて尿中L-FABP値が上昇することから腎疾患の予後予測にも有用性を示します。

敗血症に伴うAKIを含む長期合併症の発生頻度は高く、透析療法は患者様のQOLの悪化と医療費高騰の原因となります。尿中L-FABPは上記データのように敗血症性AKI診断、また敗血症患者の予後予測にも有用であることが示されており、先生方の治療方針の決定の一助となります。ICUや日常診療、また医療設備が十分でない海外での検査などにも利用可能な、「L-FABPテスト POCキット」を是非ご活用下さい。

参考文献:

- \*1 Urinary L-type fatty acid-binding protein as a new biomarker of sepsis complicated with acute kidney injury. Doi et al.; 2010, Oct;38(10):2037-42; Critical care medicine
- \*2 Urinary L-FABP as a mortality predictor in <5-year-old children with sepsis in Bangladesh. Yoshimatsu et al.; 2015, Mar;58(3): 185-91; Pediatrics International.
- \*3 Urinary L-type fatty acid-binding protein as a new renal biomarker in critical care. Doi et al.; 2010, Dec;16(6): 545-9; Current opinion in critical care.
- \*4 Treatment of acute renal failure. Robert A. Star; 1998, Vol.54: 1817-1831; Kidney International.

# 保険算定上の主な対象と有用性

＜中医協 総会（第194回）議事次第 臨床検査の保険適用について＞より引用

【測定内容】	尿中L-FABPの測定（尿細管機能障害を伴う腎疾患の診断の補助）
【主な対象】	急性腎障害が確立されていない、薬剤性腎障害、敗血症または多臓器不全等の患者
【有用性】	急性腎障害が確立されていない、敗血症または多臓器不全等の患者に対し、治療転帰を含めた重症化リスクを判別することで、血液浄化療法などの適応判断に利用可能性がある。
【留意事項】	原則として3ヶ月に1回限りの算定であるが、医学的な必要からそれ以上算定する場合「（造影剤投与前後の）尿細管障害を連続してモニタリングする必要があるため」「急性腎障害の重症化リスクの判定」など詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄へご記入下さい。

## 使用方法



販売名	レナプロL-FABP テストPOC	有効期間	製造日から12箇月間 (外箱に表示の使用期限内にご使用ください。)
貯蔵方法	1～30℃に保存	包装単位	10回用 1箱

## シミツクホールディングス株式会社

L-FABP事業部  
〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング21階  
TEL : 03-6779-8017 FAX : 03-3830-5455  
URL : <http://www.fabp.jp/>  
E-mail : [l-fabp@cmic.co.jp](mailto:l-fabp@cmic.co.jp)

関連文献、多数有り

詳しくはコチラで検索

fabp web 検索

<http://www.fabp.jp>